

資料一2一②

平成 30 年度  
事業計画

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

一般財団法人ロングステイ財団

# 平成 30 年度事業計画

## 基本方針案

当財団は、国内・海外ロングステイの普及・啓発事業を中核とし、わが国唯一の長期滞在型観光促進を推進する機関として、より豊かで多様なライフスタイルの実現を目指した当財団ならではの主要事業を継続して行っていく。今年度は基本に立ち返り、ロングステイ普及啓発主要事業の着実な推進と当財団連携組織(ステイクホルダー)との連携強化と拡大を主に展開していきたい。その活動から人々の豊かなライフスタイル創出が実現し、ロングステイが浸透することにより、地域社会の振興と活性に貢献する持続的な取り組みになることを当財団の主たる使命としたい。

## I. 公益目的事業

### 1. 普及・啓発事業

#### 1) 今年度の重点推進事業

##### ① ロングステイフェアの開催 (年 2 回)

- ・大阪: 5 月 26 日(土)
- ・場所: ダイワハウス工業株式会社 大阪ビル
- ・東京 11 月 26 日(月)
- ・場所 有楽町国際フォーラム

テーマ「暮らすように旅をする 夢の続きをロングステイで」より絞り込んだ戦略テーマに沿ったフェア出展誘致と主要ロングステイ地域の戦略パートナーとの連携により品質向上と拡大をはかる。

##### ② ステイクホルダーと連携したロングステイセミナーの実施

- ・人気海外地域セミナーの実施
- ・賛助会員の課題解決支援型セミナーの実施

##### ③ 賛助会員(法人・公的)の新規拡大

- ・新規獲得目標社数26社(法人14社/公的12社)

##### ④ 個人会員の拡大への取り組み

- ・新規獲得目標人員100名・会員交流イベントの実施(年 4 回)

##### ⑤ 不採算部門の収支再検証と経営判断の実行

- ・季刊誌部門の売上と費用バランスの是正を目指した取り組み

##### ⑥ 事業別収支の把握と管理の徹底

- ・月次財務数値の把握と分析力向上の取り組み

#### 2) 海外ロングステイ普及強化

##### ① 新規 destinations の開発(ベトナム、マルタ他)

##### ② 関係機関・新規パートナーとの連携強化(マルタ、ハワイ)

### 3) 国内ロングステイ普及強化

- ①主要デステーション再構築（沖縄県、北海道）
- ②地方自治体との連携継続
- ③沖縄離島・島リゾートの積極的開発
- ④国内長期滞在施設の新規登録の拡大（目標 20件）
- ⑤関連諸団体と連携によるロングステイの推進

### 4) 広報機能及び情報発信機能の強化

- ①ユーザー目線からのホームページ品質向上（機能、コンテンツ、デザイン）
- ②SNS活用の推進（Fb、Twitter）、他社との連携
- ③関係企業、海外政府観光局との連携によるメディア FAM TRIP の実施

## 2. 調査研究事業

今年度も引き続きロングステイ市場の基礎資料作成を目的として市場アンケート（一般・インターネット）を実施し、データ収集に努め、より幅広い観点からの調査を実施する。

- 1) ロングステイ調査統計の品質向上の取り組み
- 2) 調査研究データの収集強化

## 3. 支援育成事業

### 1) ロングステイアドバイザー研修会の実施（年2回）

- ①新規受講者拡大
- ②カリキュラム検証と再構築の検討

### 2) ロングステイアドバイザー協会

- ①具体的活動施策の計画的推進
- ②委員会活動（広報委員会、ネットワーク委員会、事業委員会）の推進
- ③自立を目指した中期事業計画の作成
- ③アドバイザーの活動活性化と収益事業の創造
- ④アドバイザー協会の財務体質強化

## II. 収益目的事業

### 1) 新規収益事業構築への取り組み継続強化

- ①財団の強みを活かしたコンサルティング・アドバイザリー事業継続強化と事業育成
- ②財団ブランドを活かした収益事業構築の取り組み
- ③他社との連携による収益の拡大

### 2) 出版事業

- ①調査統計本の編集効率性の追求と販売強化
- ②「季刊誌」販売体制の再構築とデジタル版移行の検討

③関連企業と連携と広告販売の強化（季刊誌）

3) WEB事業取り組み強化

- ①ブランド強化のための閲覧率PV向上の取り組み
- ②広告販売強化

Ⅲ. その他定例事業

- ①メディア交流会の実施 11月（2回開催も検討の場合、7月）
- ②海外サロン意見交換会・交流会の実施 11月
- ③賛助会員総会の実施 2月（総会内容をテーマ別に詰める）
- ④長期滞在型・ロングステイ観光学会との連携強化

Ⅳ. 組織運営事業

1) 財団組織運営（会議・委員会）

- 理事会 3回実施（上期実績報告、年度事業報告、来期事業計画・予算審議）
- 評議員会 2回実施（同上）
- 広報委員会 4回実施（毎回の季刊誌発行）
- 教育委員会 1回実施（アドバイザー研修の復活について）
- 運営委員会 1回実施（来期事業計画・予算案について）

2) 効率的な会議運営の実施（各会議準備の前広な取組み）

- ①会議運営の質的向上
- ②財務指標を活用した経営の見える化
  - ・月次収支報告
  - ・上期仮決算の導入

3) 管理業務改善強化の取組み

- ①月次数値管理による進捗把握と施策展開（毎月第2回部長会時）
- ②事業目標に基づく達成状況の共有と達成手段の推進
- ③財務体質強化策の検証（基本財算運用・会費収入の増加）
- ④デジタルファイルの格納整理と簡素化
- ⑤管理業務のスリム化（無駄の排除）

4) 経費支出効率化の取組み

- ①費用対効果を意識した費用支出管理（一般管理費・事業支出・営業費用）
- ②季刊誌事業のコスト見直し

5) システム関係

①ホームページ情報の定期的更新の励行

一部情報（「体験プログラム」「セミナー情報」）の季刊誌掲載廃止の代替案として情報のHP掲載強化を推進する

②メンバーズ・アドバイザー管理システムの会員情報の維持管理徹底と情報活用による管理強化

- ・会費未収管理
- ・基本情報のアップデート
- ・レポート提出管理

③HP・WEBの活用による収益事業の構築

6) 登録商標管理

①商標管理強化

②商標権使用にかかる正確な手続き手順の励行（昨年度見直しのもの）

7) アドバイザー協会事務局運営とその支援

8) 長期滞在型・ロングステイ観光学会運営支援

- ・分科会活動支援
- ・全国大会
- ・調査統計本販売強化